

横浜工業品製造インドネシア (YI-ID) CSRLレポート

事業内容: マリンホースおよび空気式防舷材の生産・販売
敷地面積: 51,000m²
従業員数: 102名 (2017年12月)
所在地: Jl. Mas Surya Negara VIII No.6 Kawasan Industri Terpadu Kabil-Batam
 Kepulauan Riau Indonesia.

相談・苦情などの受付窓口:

TEL: +62-778-807-0100 FAX: +62-778-807-0101



社長ご挨拶



若林 正

PT. YOKOHAMA INDUSTRIAL PRODUCTS MANUFACTURING INDONESIA (YI-ID) は、2014年2月に、高い品質とブランド力を背景に海洋商品の市場シェア拡大を目指し、コスト競争力に優れた海外生産拠点として、インドネシア バタム島に設立された会社です。バタム島は、アジア最大のハブ港であるシンガポールから20kmと近く、国際物流面での利便性に優れています。2014年から工場建設を開始し、2016年から、

STSホース、空気式防舷材の製造・販売を開始しました。また、2017年からは、マリンホースの製造・販売も開始しました。2016年には、ISO9001を取得し、2017年4月には、ISO14001およびOHSAS18001も取得しました。2018年には、ISO9001 2015への更新を計画しています。安全、環境、品質のマネジメントシステムを、運用し、継続的な改善活動を進めています。私たちは、お客さま、従業員、地域の皆さまに信頼される会社を目指し、活動を進めています。

組織統治

組織・体制の見直し

社長をトップとして、人事課長、各職場の代表からなるコンプライアンスコミッティーを立ち上げました。

毎月、従業員からの要望やコンプライアンスに関する問い合わせや情報を、E-mail、依頼フォーム、もしくは直接確認し、改善に取り組んでいます。

毎月の工場朝礼 (Company Wide Meeting) において、従業員へのコンプライアンス教育 (企業行動規範、内部報告、ハラスメントなど) を行っています。

2018年3月には、労働者の生産性と福祉を向上させ、事業の継続性を確保するため、労働問題に関するコミュニケーション、相談、審議の場となるWorkplace Bipartite Cooperationを立ち上げました。Workplace Bipartite Cooperationは、民主的に選出された労働者代表者と雇用者代表者の数を同じ数で構成されています。Manpower Officeに、登録され、会合の議事録を報告します。Workplace Bipartite Cooperationは、少なくとも月1回、または必要ときに会合を開いています。



Compliance 2017

人権

インドネシアは、多民族国家で、民族によって文化や伝統が違います。国家設立にあたり、多様な環境や文化を尊重しつつ、みんなで団結し、統一していこうという精神があります。

私たちもその精神を尊重し、人材採用において、人種、性別、宗教、児童労働などの法律に、反することなく採用活動を行っています。



Independence day 2017

労働安全衛生

安全衛生基本理念

・安全衛生はすべての基本とし、労働災害防止と、心身共に健康で快適な職場づくりに取り組んでいくを基本理念とし、OHSAS18001をベースとして安全衛生活動を推進しています。



OHSAS18001登録証

従業員への安全教育

従業員への継続的に安全衛生教育を実施しています。

(1) 交通災害防止

YI-IDの従業員は、オートバイによる通勤が大半を占めています。そこで、通勤中の事故を防止するために、定期的に外部の講師を呼んで、オートバイの安全運転講習、シミュレーターを使用したデモンストラを開催しています。

また、2017年から追加の交通災害防止対策として、安全チームによるオートバイの点検検査を毎月実施しています。検査項目は、オートバイの安全のための重要項目である照明、表示器、ブレーキ、ミラー、タイヤ空気圧など約10項目からなっています。



Safety Driving Training 2017

(2) 公開作業観察

毎週、公開作業観察活動 (D-day Activity: Demonstration day activity) を開催し、課長、管理者が作業を観察し、安全・品質等の問題点を見つけ、作業改善、作業手順の見直しなどを実施しています。

(3) 消防避難訓練

毎年、火災の発生を想定して、全従業員を対象に、消防避難訓練を実施しています。

最初の火災警報の後、構内放送の指示に従い、安全に避難できるよう訓練をしています。



消火訓練



消防避難訓練

(4) ロール救出訓練

危険リスクの高い作業として、ロールミルの作業があります。作業者の安全意識の向上および万一の重大事故に備え、3カ月ごとに訓練者をローテーションしながら訓練を実施しています。



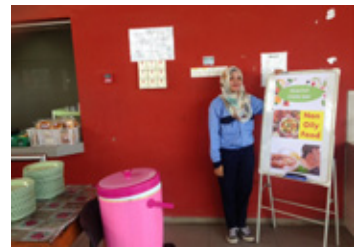
ロール救出訓練

(5) 2S活動

2Sは、安全の基本をベースに、隔週で各職場を相互に点検し、2Sレベルの向上を図っています。

(6) 健康維持のためのノンオイルフードの提供

インドネシアの食事は、オイルを使用したものが多くあります。摂取量が多いと、健康への悪影響を与えます。そこで、月に1度、オイルを使用しない昼食の提供を始めました。食堂では、オイルを使用せずに、ポイルやグリルで調理した食事を提供しています。



Non Oil Food 2017

コミュニケーション

社内でのコミュニケーション向上の一環として、フットサル大会、独立記念日のイベント、プカプアサ、ファミリーデーなどを開催しています。



フットサル大会

環境マネジメント

労働安全衛生基本理念

・「社会に対する公正さと環境との調和を大切に」を規範に、トップレベルの環境貢献企業になるを基本理念とし、ISO14001をベースとして、環境改善活動を推進しています。



ISO14001登録証

環境データ

項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	
廃棄物発生量 (t)	—	—	—	107	241	
埋立率 (%)	—	—	—	0.0	0.0	
埋立量 (t)	—	—	—	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算: kl)	電力	—	—	291	544	
	燃料	—	—	—	471	919
	合計	—	—	—	762	1,463
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	—	—	—	1.82	3.48	
水使用量 (千m ³)	—	—	—	11.1	34.7	

※年度：1月～12月
 ※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2016年度以降は、海外拠点の算定では、GHGプロトコルを使用しました。

公正な事業慣行

横浜ゴムの行動規範をベースに、インドネシア語での行動規範を作成し、YI-ID版コンプライアンスカードを、全従業員へ配布し、教育を実施しました。
 また、コンプライアンスに関する相談窓口を明確（メール、電話等）にし、随時、相談等の受付を実施しています。



消費者課題

2017年にインドネシア市場での販売促進を推進するため、インドネシア販売担当および技術サポートを設置しました。
 また、インドネシアでのローカルコンテンツを算出し、登録を進めています。ローカルコンテンツは、2017年は18%ですが、2018年には、25%以上となるよう、ローカル材料の調達化を進めています。
 また、ISO9001をベースとして、品質改善活動を推進しています。



ISO9001登録証

消費者とのコミュニケーション

マリンホースの生産開始に伴い、多くのお客さまに工場見学および監査を実施していただいています。
 また、インドネシア市場での認知度を向上させる目的で、2017年9月に開催されたOil & Gas Indonesia 2018に、YRCと共同でブースを出展し、多くのお客さまに来店いただきました。



苦情などへの対応

皆さまからいただきました情報については、要領に基づき、迅速に社内展開され、分析・対策等を立てて、お客さまへ回答・対応しています。



地域社会とのかかわり

インドネシアは、90%以上がイスラム教徒ということもあり、イスラム教に関する行事が多くあります。

(1) ブカ・プアサ (Buka Puasa)

イスラム教徒は、普段の食事ができることに感謝し、飢餓にあえぐ人たちの気持ちを理解するために断食月を設けています。

この間、日中での飲食を控えており、日が沈むと同時に、家族そろって、食事をとれることに、感謝し、お祈りします。この催しをブカプアサと言います。

弊社では、この間、従業員と孤児の方が一緒に、ブカプアサの催しを行っています。



Buka Puasa

(2) ハリ・ラヤ・イダル・アダハ (Hari Raya Idul Adha)

ハリ・ラヤは、イスラムの犠牲祭のお祝いで、すべての人に牛肉を提供し、各家庭で牛肉の特別な料理を作り、食事をする伝統的な行事です。

YI-IDも牛を1頭寄付しています。



Hari Raya Idul Adha

(3) Safety Day

工業団地が主催し、安全に関するイベントの他、マングローブの植樹などを行いました。YI-IDも積極的にこの活動に参加し、マングローブの提供を行っています。

千年の杜活動

2016年から、活動に向けての準備として、樹木の調査を進めています。2018年下期には、植樹を開催すべく、準備を進めています。